

救いの道



救いの道の方法からタラパンまで
実践型マニュアル

はじめに。。。。

救いの道を初めて学ぶ方のために、
どうしたら、救いの道を効果的に、かつ効率的に話すことができるかと
祈りながら、この冊子を作成しました。

10年前に、サモニムから中心に救いの道訓練を受けていましたが、その当時のままのものを作成し、修正を加えながら
作成された救いの道マニュアルになります。

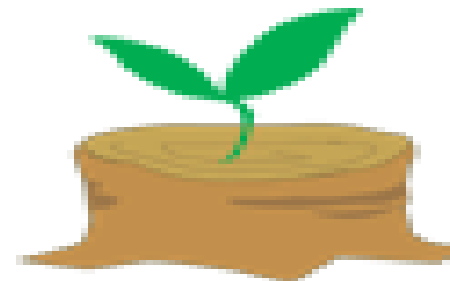
伝道資料として、また、日々の、霊的力を得る道具として
活用頂けたらと思います。

救いの道は、まず自分自身の刻印のために始めてください。

何度も繰り返しながら、
流れを確認しながら、御言葉の流れの中で
契約の中で、私がいる現住所を確認してください

そして、第Ⅰペテロ3:15にあるように
福音を聴きたい方のために福音を伝える準備となります。

この救いの道の冊子が、個人福音化、家族福音化、地域福音化、日本福音化、世界福音化へと
用いられることを祈っております。
神様のすべての栄光を帰します。



2009.12 初版
2018.1.30 福音宣教教会
鶴見三基也

①神の形

初めに神様は、人間を神の形に創造されました。(創世記1:27)

②創造の原理(魚—水、木—土、鳥—空)

それは、魚が水の中にいることが一番自然なように、
木が土の中にいることが一番幸せなように、
鳥が空を飛ぶことが一番幸せなように
人間は神様と共にいることが一番幸せのように作りました。

③善悪を知る木 — 神との契約(創世記2:17)

神様は、最初の人間アダムとエバに1つの約束をしました。

「あなたは園のどの木からでもいいのまに食べてよい。
しかし、善悪の知識の木からは採って食べてはいけない。
それを取って食べるとき、あなたは、必ず死ぬ(創世記2:17)」

しかし、蛇であるサタンが、善悪を知る木の実を食べると
神のようになれると誘惑し、
人間は、神様の契約を破ってしまったのです。
その時から、本当に人間は霊的に死んでしまい、
解決できない3つの問題が始まってしまったのです。

※この時、サタンの正体性についても説明できると良いです。
サタンは、以前は、賛美する天使であり、明けの明星(イザヤ14:12-14)、
美の極み(エゼキエ28:12-14)として極めて美しく作られました。しかし、その美しさゆえに
傲慢になり神のようになろうとして、地に投げ落とされました。(黙示12:9)
自分のいるべき場所を失った天使として(ユダ1:6)
ほえたける獅子のように、神様の子供を騙そうと歩きまわっています。(I ペテ5:8)
そのサタンにアダムとエバが騙されてしまったのです。

④3つの根本問題(神様から離れる、罪、サタン)

1)まず、神様から離れてしまいました(創世記3:1-6)
2)そして罪という解決できない問題が出てきました。

「義人はいない、一人もない、
悟りのある人はいない。神を求める人はいない。
すべての人が迷い出てみな無益なものとなった
(ローマ3:10)」

「すべての人は罪を犯したので神からの栄誉を受けることができず(ローマ3:23)」

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様

③ 善悪を知る木(創2:17)
人間

神の形(創1:27)

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様

③ 善悪を知る木(創2:17)
人間

創世記1:27-28

④ 神様から離れる
(創3:1-6)
罪(ローマ3:10,23)
サタン(ヨハネ8:44)

3)そして、神様の支配から、サタンが私たち人間を支配するようになりました

「あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出たものであって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。」(ヨハネ8:44)

⑤ 6つの呪い

それゆえ人間は、神様から離れた者として6つの呪いを受けるものとなったのです。

1)悪魔の子供になりました。

悪魔は、3つの父とされています。

人殺しの父、偽りの父、欲望の父です。

神を離れた人間は、悪魔の体質を受け継いで人生を送るようになりました。

「悪魔は、初めから人殺しであり、真理に立っていません。

彼の内には真理はないからです。彼が偽りを言うときには、

自分にふさわしい話し方をしているのです。

なぜなら、彼は偽りものであり、また、偽りの父であるからです。(ヨハネ8:44)

2)偶像礼拝をするようになりました。(エペソ2:2)

神を離れた人間は、神を求める本能があります。

しかし、まことの神に会える道がわからないので、

目に見える偶像と、目に見えない偶像を作り、それを拝むようになりました。

目に見える偶像とは、仏壇、お札、お墓参り等などに拝むことなどです。

肉的な欲望に走る、淫乱、お酒中毒、麻薬中毒、お金中毒

また、物によって満足を得ようとすることも偶像の1つです。

目に見えない偶像とは、名誉心などを求めることなどが挙げられます。

それらの偶像で一時的には、満足を得られても、

一時的な安らぎにしかならず、もっと苦しむように悪魔は騙します。

神を離れた人間は、今も空中の権威をもつ支配者(エペソ2:2)に

支配されて、生きるようになってしまったのです。

3)精神的に苦しむようになりました。(マタイ11:28)

偶像を拝んでもまことの幸せを得ることができないので、

人間は、精神的な問題を受けるようになりました。

うつ病、悪夢、幻聴、幻覚、家庭不和、自殺願望等

精神的に苦しむ人生を来すようになりました。

重荷を負っている人間に、神様が「すべて疲れた人重荷を負っている人は

私のもとにきなさい。私があなたを休ませてあげます(マタイ11:28)」

とおっしゃいました。

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様

③ 善悪を知る木(創2:17)
人間

創世記1:27-28

④ 神様から離れる
(創3:1-6)
罪(ローマ3:10,23)
サタン(ヨハネ8:44)

⑤ 6つの呪い
1. 悪魔の子供
(ヨハネ8:44)
2. 偶像礼拝
(エペソ2:2)
3. 精神的苦
(マタイ11:28)
4. 肉体的苦
(使8:4-8)
5. 地獄
(ルカ16:19-31)
6. 子孫への呪い
(出エジ20:4-5)

4)肉体的に苦しむようになりました。(使8:4-8)

心と身体はつながっていると心身医学という分野もあるように
心と身体は1つの関わりを持っています。

聖書の中にも、難病の人がイエスのもとに来たと書いてあります(使8:4-8)
精神が病むと、当然のように肉体的にも苦しみを受けるようになりました。
これがひどくなると、医学でも解決できない病気である(癌、エイズ等)
悪霊からくる病等、肉体的にも苦しむ人生になりました。

5)地獄に行くようになりました。(ルカ16:19-31)

精神的に肉体的に苦しみ、死後、永遠の地獄に行かなければいけないと
聖書にはかいてあります。

金持と貧乏人の話がありますが(ルカ16:19-31)

神様を信じていた貧乏人は、天国に行きましたが、
神様を知らない金持ちは、永遠の火である地獄に行くようになりました。
水滴1つでもほしいと願っても、天国と地獄には深い溝があり、
天国から地獄へ、地獄から天国へと行くことができません。
救われるチャンスは、生きている今しか与えられていないのです。

6)子孫への呪い(出エジプト20:4-5)

このように悪魔の子供として、人生を歩んだあと、
この呪いが子孫3代、4代へと継承されていくと聖書にかいてあります。
(出エジプト20:4-5)

⑥ 人間は神様に会おうと努力しています。 (マタイ12:43-45,イザヤ64:6,コロ2:8)

1)宗教(マタイ12:43-45)

今の苦しみから逃れようと、
宗教をしてみますが、それは頭の中を掃除するだけで、
一度出た悪霊は、違う7つの霊をひきつれて戻ってくると聖書に書いてあるように
宗教をすればするほどますます苦しみます(マタイ12:43-45)

2)善行(イザヤ64:6)

善い行いをすれば、幸せになると思いますが、
神様の前では、汚い布切れだと言っています(イザヤ64:6)

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様

③ 善悪を知る木(創2:17)
人間

創世記1:27-28

④ 神様から離れる
(創3:1-6)
罪(ローマ3:10,23)
サタン(ヨハネ8:44)

⑤
宗教(マタイ12:43-45)

善行(イザヤ64:6)

哲学(コロ2:8)

⑤
1. 悪魔の子供
(ヨハネ8:44)
2. 偶像礼拝
(エペソ2:2)
3. 精神的苦
(マタイ11:28)
4. 肉体的苦
(使8:4-8)
5. 地獄
(ルカ16:19-31)
6. 子孫への呪い
(出エジ20:4-5)

3) 哲学(コロ2:8)

哲学を持ってすれば、神に会えるようになると思いますが、コロサイ2:8には、神様の前では、幼稚な教えである哲学にだまされてはいけないと言っています。哲学者ニーチェは、「神様は死んだ」と結論づけましたが、精神的な病をもって、昼間に「この世が暗い暗い」と言いながら、死んでいきました。

⑦それゆえ神様が人間に救いの道を用意されました。 (創世記3:15,ローマ5:8)

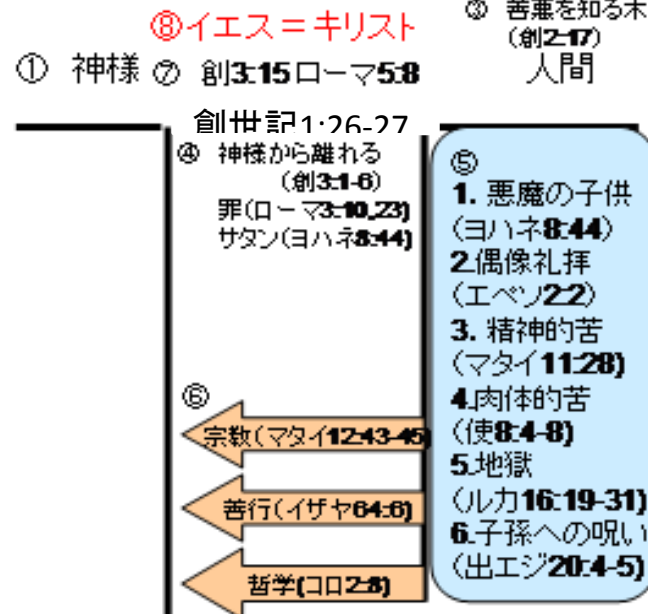
人間は、サタンに縛られて、運命にとらわれているので、どんなに頑張っても、神様に会えず、まことの幸せを得ることはできません。しかし、神様が、救い主を送るという約束をされました。この女の子孫であるキリストがサタンの頭を踏み砕くためにこの世に来ると約束されました。私たちは、アダムの子孫、いわば、男の子孫として生まれました。つまり、アダムからの原罪を持って生まれました。しかし、女の子孫とは、マリヤの胎内に聖霊で宿り、この原罪を持たない子孫として、この地上にこられました。(創世記3:15) まだ、私達が罪びとであるときに、キリストが私たちのために十字架で死なれ、救いの道を与える約束をしました(ローマ5:8)

⑧ イエス・キリスト

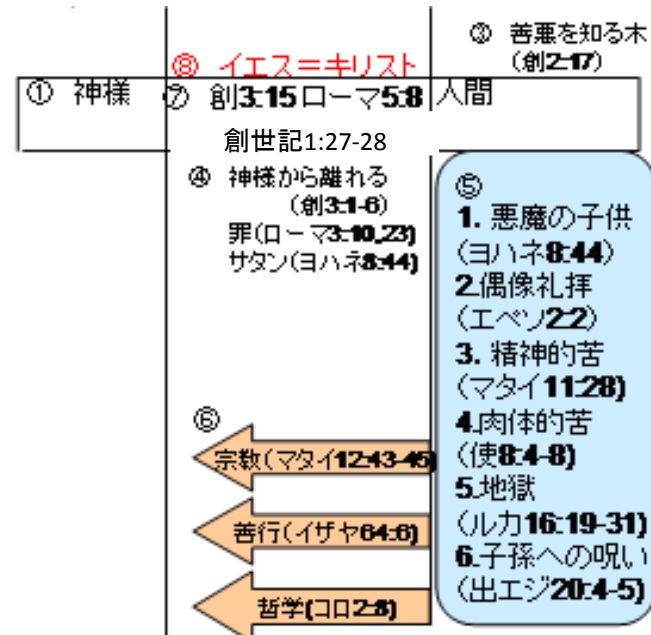
※ この時に、救いの道の部分に大きく十字架を描いて下さい。

この方こそ、イエス・キリストです。オバマ大統領だと、オバマが名前で、大統領が役職名ですが、イエスが、キリストの働きをするためにこの地上にこられました。イエスとは、ヤファウェの救い、ヤファウェの御名という意味です。キリストとは、ギリシャ語で、油そそがれた者という意味です。油とは、聖書の中で3つの役職の者に、注がれました。その役職とは、王、祭司、預言者です。

② 魚ー水
木ー土
鳥ー空



② 魚ー水
木ー土
鳥ー空



⑨3つの役職を成し遂げたイエスキリスト

1) 真の預言者(ヨハネ14:6)

預言者とは、神様が言われたことを、人々に伝える、神と人との橋渡しをする役目をします。

イエスキリストは、私が道であり真理であり、命である(ヨハネ14:6)

と言われたように、真の預言者として、

神様からはなれた人間を、神様とであうことができる道を開きました。

※この時に、上の方の「神様から離れる」という箇所に斜線を引っ張って下さい。

2) 真の祭司長(ローマ8:2)

祭司長とは、民の犯した罪を、神様の許しをこうため、

犠牲のいけにえである羊や獣をささげ、神様の許しを祈る役目をします。

キリストは、真の祭司長として私たちのすべての罪を許して下さいました。

罪のないキリストが、十字架で血を流して下さいました。

この尊い血によって、

罪と死の法則から、命と御霊の法則に変えてくださったのです。(ローマ8:2)

※この時に、上の方の「罪」という箇所に斜線を引っ張って下さい。

3) 真の王様(I ヨハネ3:8)

王とは、民の中で、もっとも権威と力があるものです。

外部から敵が入ってきたら真っ先に先頭にたって戦うのが王様です。

キリストは、真の王として、

人間を苦しめてきたサタン働きを壊すためにこの地上に来て下さいました。

私たちのために十字架で死なれたあと、

3日後に死より復活しました。

復活したとは、死の力を持つ悪魔に打ち勝ったということです(ヘブル2:14)

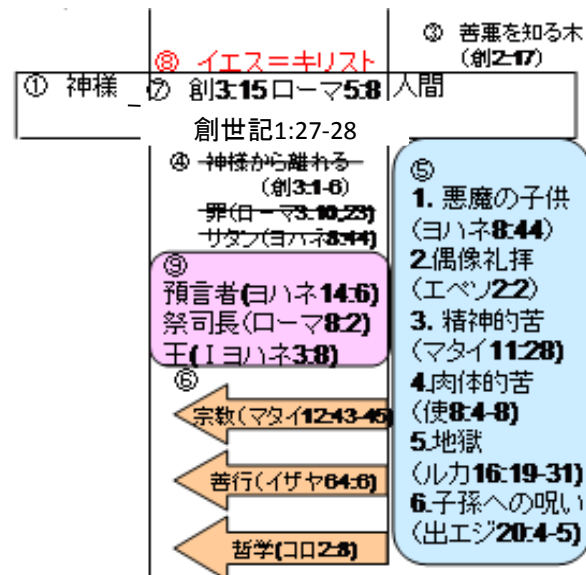
※この時に、上の方の「サタン」という箇所に斜線を引っ張って下さい。

このようにキリストは3つの役職を完全になしとげ

人間の苦しみが始まった、3つの根本問題を完全に解決して下さったのです。

ですから、十字架上で「完了した」と告白され、息を引き取られました(ヨハネ19:30)

② 魚ー水
木ー土
鳥ー空



⑩ では、どうすれば救われますか？

キリストが、人類の根本問題を解決したのでしたら、
 私たち人間はどうすれば救われるでしょうか？
 このイエスをキリストとして心に受け入れるものは神様の子供になれる
 特権くださいました。(ヨハネ1:12)
 神様はこのキリストを受け入れるものは、永遠の命をもつと約束しています。
 (ヨハネ3:16)

このイエスをキリストとして告白し、このキリストが死者の中から蘇ったと
 信じるならば、救われると約束しています(ローマ10:9-10)
 明日のことは分かりません今日受け入れることを神様は言われています
 (箴言27:1)

このイエスをキリストとして受け入れる者は
 死後さばきにあうことがなく
 死から命に移されます(ヨハネ5:24)

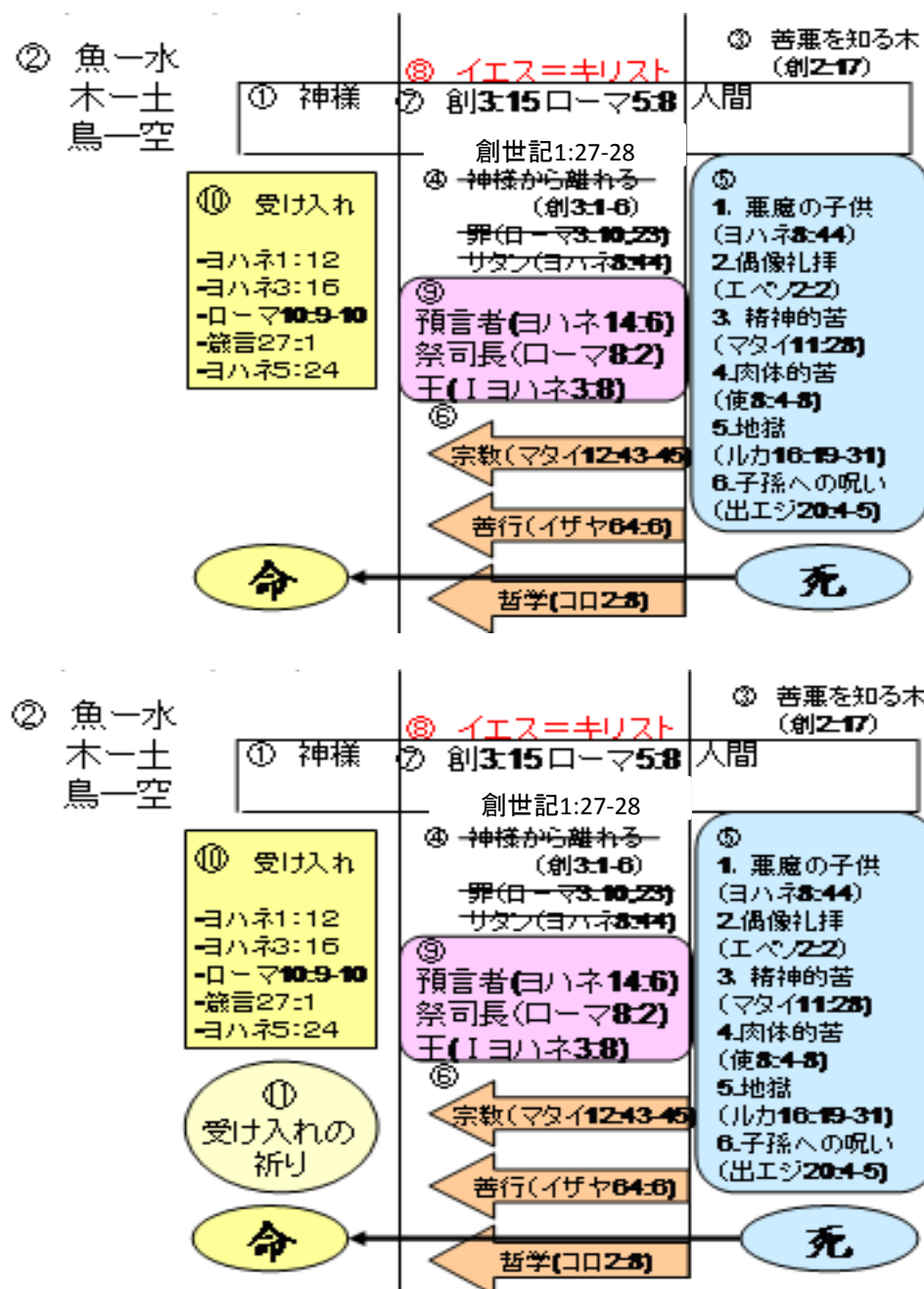
※ この「死から命に移される」というときは、右図にあるように
 6つの呪いの箇所6つ目の下に「死」と書いて、
 矢印を下から引っ張って、受け入れの箇所の一番下に「命」と記載して下さい。

⑪ 受け入れの祈り

今、イエス様はあなたの心の扉をノックしています。
 あなたも、神様の子供になりませんか？
 もし、今、神様の子供になりたいのであれば、
 私について受け入れの祈りをしてください
 では手を合わせて祈りの姿勢を取って、
 私の後について受け入れの祈りをしましょう

「神様、今まで、私は神様を離れて生きてきました。
 しかし、今日、イエスキリストが、私の罪を背負い、神の会える道となり、
 私を苦しめてきた悪魔を打ち砕いたことを知りました。
 今、私の心を開きます。私の心に入ってください。私の心に入ってください。
 私の心に入ってください。これを信じます。
 これからの人生、神様が私の主人となって、私を導いて下さい
 神様の子供になったことを感謝します。
 主イエスキリストの名前で祈ります。アーメン」

今、イエスキリストはあなたのどこにいますか？
 (回答を待った後で) 今、あなたと共にいますよ。
 あなたがどんな失敗、挫折をしようとも見捨てずに共におられます。



※ここで、3種類の人があります。
 1つは、天国という人です。その場合、今あなたの心にいることを説明してください
 1つは、わからないという人です。この場合も、今あなたの心にいることを説明して下さい。1つは、心にいるという人がいます。
 その場合、「そうです。今あなたと共にいます」と褒めてあげて下さい。
 3つ目の回答をする人の場合、霊的に優れている場合があります。
 弟子の可能性があるので、特に祈りを願います。
 ただ、他の2つの回答をする人が弟子じゃないかというところではありません。
 誤解しないように願います。

⑫ 7つの祝福

1) 神様の子供(Ⅰコリント3:16)

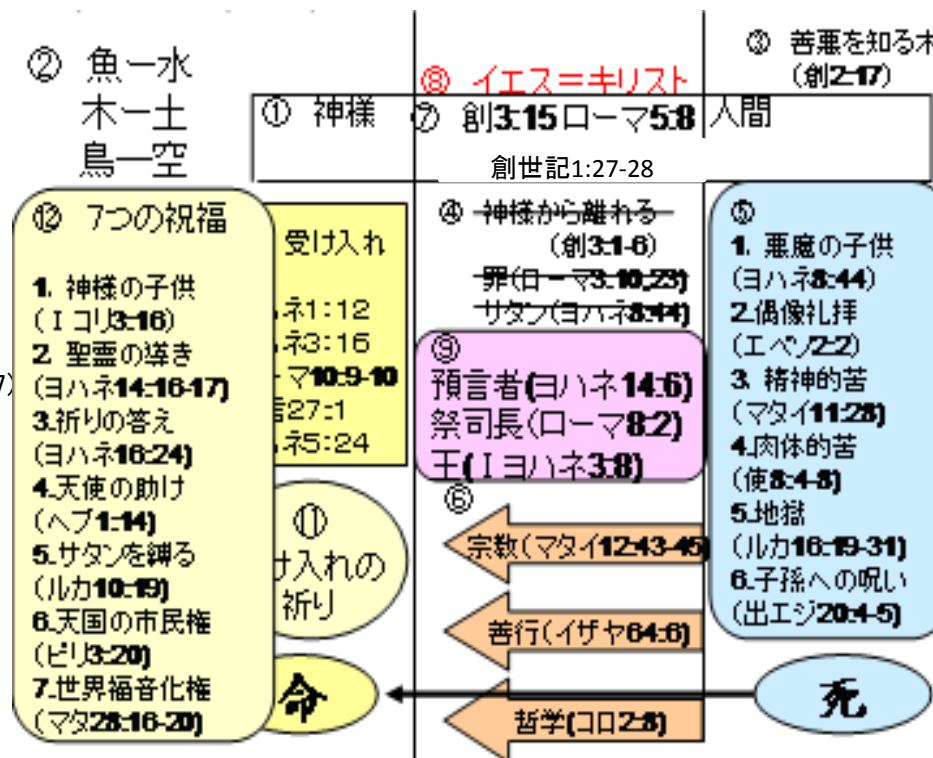
これから、あなたは身分が変わりました。
 悪魔の子供の身分から、神様の子供の身分へと変わりました。
 奴隷船の奴隷から、王様の子供になるように身分が全くかわったのです。
 あなたは、神様が共におられる神殿になったのです(第一コリント3:16)

2) 聖霊の導き(ヨハネ14:16-17)

今まで悪霊の導きで偶像礼拝をするしかなかったですが、
 私たちには聖霊が宿ったので、責任をもって教え導くといわれています。(ヨハネ14:16-17)
 私たちの人生を導いて下さい。
 特に、神様は、日曜日の牧師先生の御言葉から一週間の聖霊の導きの方向性を教えて下さい。
 また、祈りの手帳の御言葉をとおして、毎日ごとの導きをくださいます。

3) 祈りの答え(ヨハネ16:24)

しかし、聖霊の導きを明確に受けるのは神様との祈りが必要です。
 今まで誰も私の名によって祈ったことがないので、祈りなさい(ヨハネ16:24)と神様は、おっしゃっています。
 与えられた御言葉をもって、時間を決めて定刻祈りをしてください。
 講壇のメッセージや、祈りの手帳で掴んだ御言葉を祈りに変えてください。
 特に、朝起きた時にする祈りは、聖霊充滿を祈るのと、これから行く学校、職場の現場に、先に天使を遣わし、サタンを打ち砕き、正確に聖霊の導きを受けることができるようにお祈りしてください。
 なぜ定刻祈りをするのかというと、力と安らぎを得るためです。
 私たちが祈りもせず、自分の力で頑張ると力がなくなってきて霊的に弱くなってしまいます。
 熱心にするよりも、静まって祈る時間がどうしても必要です。
 定刻祈りができると、常時祈りができるようになります。
 目に見えるもの、起きる事件、出会いをすべて祈りに変えることができます。
 その時から、神様の隠れた計画を発見することができます。



4) 天使の助け(ヘブル1:14)

私たちの祈りを、天使が、天の御座まで天使が運んでくださいます。

(黙示録8:3)

そして、救いの相続者となる私たちをいろいろな災いから

守って下さいます(ヘブル1:14)

5) サタンを縛る力(ルカ10:19)

神様の子供となった私たちを倒そうとサタン及び、悪霊が、

私たちの弱さ、弱点を攻撃し、霊的に倒そうと

してきます。しかし、私たちは、イエスキリストの名前でお祈りすると

サタン、悪霊を追い出すことができる力を与えて下さいました(ルカ10:19)

6) 天国の市民権(ピリピ3:20)

死後、私たちは、地獄に行く身分でしたが

天国に行ける祝福を与えて下さいました。

私たちは日本人として病気をすれば、国が保障して病院で看病をしてくださいます。

それと同じように、天国の市民として、私達が病気や問題があると、

天の国が私たちを保証して下さいます。

7) 世界福音化権(マタイ28:16-20)

では、私たちは、このような天のすべての祝福を持って

祝されました(エペソ1:3)

この祝福の秘密である福音を、まだ、サタンの支配にとらわれているひとに

伝えることを、神様が願っています。

この福音が全世界に伝えあるように、私たちを全世界の証人として

天においても地においての一切の力を持つ主が

今、あなたと共にいて、あなたの家族に、友達に、同僚に

福音が伝わり、全日本、全世界へと福音をつたえる証人として、

導いて下さる祝福をもらいました(マタイ28:16-20)

⑬5つの確信

しかし、サタンは、私達が神様の子供の祝福を味わえないように邪魔してきます。
ですから5つの確信をもって、霊的武装をしてください。

1) 救いの確信(I ヨハネ5:11-13)

まず、一つ目は救いの確信です。
確かに、あなたに、聖霊の命が宿り神様の子供になりました。
しかし、時々、自分が誰であるかを忘れるようにさせ
自分の存在価値に対して否定的な考えを与えるようにします。
そんな時は、この救いの確信、いわば、今、イエスキリストが
共にいる信仰で満たして下さいと祈って下さい。

2) 祈りの答えの確信(エレミヤ33:1-3)

問題の中牢獄にいたエレミヤが、主に呼ばわったとき
「あなたの理解を越えた大いなることを告げよう」と
主がおっしゃられたように、
今、もし、問題の中にいたとしても、主に呼ばれる時に
たしかに答えて下さいます。
ただ、勘違いしてはいけません。
3つの通りで答えられます。
1つは、祈ったとおりに答えられる。2つ目はこの箇所のように
祈ったこと以上にもっとすばらしい形で答えられます。
3つ目は、答えられないことが祈りの答えの場合があります。
これは、答えられることが、私たちに害になることがある場合です。
親も子供にもっともいいものを与えたいと願うように
神様は必ずこの3つの祈りのどれかで答えられますので、
落胆したり、失望しないでください。

3) 聖霊の導きの確信(箴言3:5-6)

あなたのいくところどこにおいても、イエスキリストを主人として
心の王座を明け渡すなら、未来の見えない状況も、まっすぐに明確に
導いて下さると約束して下さいました(箴言3:5-6)
ですから、一人で悩まず、自分の知恵に頼らず、主にゆだねることを
主は願っておられます。

4) 罪の許しの確信(I ヨハネ1:9)

神様の子供になった私たちも、昔の体質のせいで
不信仰をし、神様を悲しませることがあったりします。
そこを利用して、サタンがますます自己嫌悪に陥るように騙してきます。

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様

⑧ イエス=キリスト

⑦ 創3:15 ローマ5:8
神の形(創1:27)

③ 苦難を知る木
(創2:17)

人間

⑬ 5つの確信

1. 救いの確信
(I ヨハネ5:11-12)
2. 祈りの答えの確信
(エレミヤ33:1-3)
3. 導きの確信
(箴言3:5-6)
4. 罪の許しの確信
(I ヨハネ1:9)
5. 勝利の確信
(I コリ10:13)

⑫ 7つの祝福

1. 神様の子供
(I コリ3:16)
2. 聖霊の導き
(ヨハネ14:16-17)
3. 祈りの答え
(ヨハネ16:24)
4. 天使の助け
(ヘブ1:14)
5. サタンを縛る
(ルカ10:19)
6. 天国の市民権
(ピリ3:20)
7. 世界福音化権
(マタ28:16-20)

⑤

1. 悪魔の子供
(ヨハネ8:44)
2. 偶像礼拝
(エペ2:22)
3. 精神的苦
(マタイ11:28)
4. 肉体的苦
(使8:4-8)
5. 地獄
(ルカ16:19-31)
6. 子孫への呪い
(出エジ20:4-5)

死

しかし、そんな時は、自己嫌悪に陥る前に
正直に、神様の前で、罪を告白してください。
そして悔い改めるならば、神様はその罪を許しすべての悪から
私たちを清めて下さると約束してくださいました。
すでにキリストが完全に罪を解決したので、私たちは神様の子供として変わりません。
ただ、罪からの生活から離れないと続けてサタンに騙されやすくなります。
霊的問題があるならば、それが癒されるようにもお祈りしましょう。

5)勝利の確信(I コリント10:13)

神様は、私たちの信仰を強くするために
しばしば、試練を通して私たちの信仰をテストします。
その時、その問題が災いとしての問題でなく、
神様の祝福の計画があることを忘れないでください。
その試練をイエスキリストと共に乗り越えることができる力を下さいました。
何より、神様は、問題の中で脱出に道を与えて下さると約束しています。
「キリストはすでにすべての問題を解決した、きっと神様の隠れた計画と
祝福があるんだ」という信仰に立てれば、サタンは私たちを攻撃できません。

⑭ タラパンへとつなげる

ここまで、あなたが、神様の子供としての祝福を話しましたが、
正直、まだ実感がわかないし、よくわからない部分もあると思います。
なぜなら、今日、神様の子供になって、生まれたばかりの赤ちゃんなのです。
これから、あなたが、霊的に成長して、1人立ちできるまで、
あなたに持続的に御言葉を分かち合っていきたいと思います。
一週間に一回、30分で結構ですので、私と御言葉をわかちあってくださいませんか？

※ この場合3種類の人があります。
1つ目は、断る人です。その場合、連絡先を聞いて持続的に祈って下さい。
もしかしたら、救われるだけの人の可能性もありますが、
もし、神様の選ばれた伝動弟子であるならば、時刻表の中で、
タラパンの門が開かれると思います。
連絡先を教えてくれない場合は、救われるだけの人の可能性があります。
ただ、多いだけであり、何かの時刻表の中で弟子となるかもしれません。
こういう経験から、関係伝動の必要性を握る場合が多いです。

2つ目は、迷う人です。
迷う場合、聞きたい反面、プライベート及び、仕事や学校で忙しいので、
持続できるか不安な場合です。
その場合、タラパンする期間を1カ月に1回など相手の都合に合わせる
方法も1つです。
ただ、あまりに期間を長くすると、霊的に冷めてきて、
ある日、タラパンがなくなるケースもあります。
相手の都合に合わせつつ、かつ、期間をあまり空けない方法で
タラパンをすることを推奨します。

もう1つは、あまり興味ないけど、断る勇気のない人です。
この場合、タラパンをしていく中で、興味を持ってくるケースがあるので、無理でなければ、こちらから、場所と時間を決めて、提案してみて、とりあえず、始めましょうという感じで、始めるのも1つです。

3つ目は、了承する人です。
この場合、弟子である可能性が高いです。
時間と場所を決めて、また、連絡先を交換して
確実に、御言葉を分かち合っていけば、弟子となる可能性があります。
ただ、関係伝動でなく、路傍伝動の場合、相手が初対面であるため、ふとした瞬間から、連絡が途絶えるケースがあります。
特に注意をして第一回目のタラパンを祈りながら準備して下さい。
できるなら、受け入れたあと、1週間も間をあけずに
タラパンを始める方がいいです。
サタンに隙を与えないためにも、最初の3回は、特に祈りながら準備して下さい。

1)資料について

初めのタラパンでは、福音の手紙から始めることが一番効果的です。
相手が、小学生など、幼い子供に対しては
日本レムナントのホームページにあります(j-remnant.net)
子供用の福音の手紙を活用して下さい。
ふりがなをふってあるので、子供にも読ませることができます。

2)時間と場所について

相手に合わせることが一番ですが、
週ごとに、場所を変えるのはあまりよくありません。
決めた場所で(できるだけ、霊的に落ち着いて御言葉を聞ける場所)
決めた時間に、御言葉を分かち合ってください。

3)タラパン方法について

家や施設等でする場合は、初めは賛美をして祈ってから
タラパンして下さい。霊的に心を開いて、御言葉を聞くには
賛美することがとても良いです。
ただ、そういった場所がなく、レストラン等でする場合は、祈りから始めて下さい。
そして、御言葉の箇所を分かち合う場合は、聖書を開け相手に読ませるようしてください。
最後には、フォーラムをして、つかんだ御言葉及び
祈りの課題を分かち合ってください。
特に、伝動対象者のためにもお祈りすることが御言葉運動を
広めていくためには大事です。

② 魚—水
木—土
鳥—空

① 神様
間

神の形(創1:27-28)

③ 善悪を知る木
(創2:17)

人

⑧ イエス=キリスト

⑦ 創3:15 ローマ5:8

④ ~~神様から離れる~~
(創3:1-6)

~~罪(ローマ3:10,23)~~
~~サタン(ヨハネ8:44)~~

⑨ 預言者(ヨハネ14:6)
祭司長(ローマ8:2)
王(I ヨハネ3:8)

⑤ 6つの呪い

1. 悪魔の子供
(ヨハネ8:44)
2. 偶像礼拝
(エペソ2:2)
3. 精神的苦
(マタイ11:28)
4. 肉体的苦
(使8:4-8)
5. 地獄
(ルカ16:19-31)
6. 子孫への呪い
(出エジ20:4-5)

⑬ 5つの確信

1. 救いの確信
(I ヨハネ5:11-13)
2. 祈りの答えの確信
(エレミヤ33:1-3)
3. 導きの確信
(箴言3:5-6)
4. 罪の許しの確信
(I ヨハネ1:9)
5. 勝利の確信
(I コリ10:13)

⑫ 7つの祝福

1. 神様の子供
(I コリ3:16)
2. 聖霊の導き
(ヨハネ14:16-17)
3. 祈りの答え
(ヨハネ16:24)
4. 天使の助け
(ヘブ1:14)
5. サタンを縛る
(ルカ10:19)
6. 天国の市民権
(ピリ3:20)
7. 世界福音化権
(マタ28:16-20)

⑩ 受け入れ

- ・ヨハネ1:12
- ・ヨハネ3:16
- ・ローマ10:9-10
- ・箴言27:1
- ・ヨハネ5:24

⑪
受け入れ
の祈り

命

宗教(マタイ12:43-

善行(イザヤ64:6)

哲学(コロ2:8)

死